

ON YOUR SIDE REPORT



2021.9

みなさまと共に、
持続可能な地域社会の
実現に向かって



理事長
白波瀬 誠

平素は京都中央信用金庫に格別のご愛顧を賜り、誠にありがとうございます。

この度、当金庫の経営内容や事業活動をより一層ご理解いただくため、2021年度上半期のディスクロージャー誌を作成いたしました。ご高覧いただければ幸いに存じます。

当金庫の2021年9月期の業績は、みなさまのお力添えにより、預金（譲渡性預金を含む）が5兆958億円、貸出金が3兆771億円を超え、当期純利益71億円と順調に推移することができました。

店舗計画では、12月の完成に向けて一乗寺支店の新築建替えを進めており、お客さまのさらなる利便性向上に努めております。

これからも本業支援に基づく金融仲介機能を発揮し、地域活性化に積極的に取り組んでまいります。今後ともみなさまの繁栄のためにお役に立つ所存でございますので、変わらぬご支援、お引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

2021年11月



TOPICS

SDGs及びレジリエント・シティの推進に関する連携協定締結

京都市と「SDGs及びレジリエント・シティの推進に関する連携協定」を締結しました。

本協定は、当金庫と京都市が、積み重ねてきた協力関係をより発展させるとともに、SDGs及びレジリエント・シティの推進に関する継続的な連携により、あらゆる地域社会の課題解決に共同で取り組み、様々な危機に対し、しなやかに強く、持続可能な魅力あふれる京都の実現を図ることを目的として締結するものです。今回の協定締結を契機として、地域の課題解決及び持続可能な社会の実現に資する取組を地域金融機関としての知見、ネットワークを活かして京都市と共に進めてまいります。



京都府・京都市の医療機関や医療従事者の方々を支援するための寄附を行いました

地域のみなさまを最前線で支えていただいている医療従事者への感謝を込め、2020年9月～2021年3月に販売しました新型コロナウイルス感染症 寄附金型定期預金「ファイト」のお預入れ実績にもとづいて、京都府及び京都市にそれぞれ200万円を寄附いたしました。多くのみなさまのご賛同に感謝いたします。



「KG+SQUARE by Chushin」開催

2021年9月17日～10月17日の期間、京都中央信用金庫 旧厚生センターにおいて、KYOTOGRAPIE(京都国際写真祭)のサテライト特別企画「KG+SQUARE by Chushin」を開催しました。当金庫が所有する歴史的建築を舞台として、KG+による有望アーティストの作品展示とともに、当金庫が貯蔵する創立時から現在までの写真やチラシ・ポスターなどを展示し、80年の歴史を振り返りました。



松井山手支店新築移転

2021年8月30日、「松井山手支店」を新築移転オープンしました。新しい松井山手支店は、街並みと良好な調和を図るデザインの外観となっています。また水害への備えとして、歩道よりもフロアレベルを高く設定するなどの災害対策によって安全性を高めています。



須田国太郎展開催

2021年4月7日～5月16日、中信美術館において、当金庫創立80周年記念事業・一般財団法人きょうと視覚文化振興財団設立記念「須田国太郎展～油彩と能・狂言デッサン～」を開催しました。





地域社会の発展のために

■ 中信ビジネスフェア2021 第33回大商談会

ビジネス情報の提供、異業種交流、ビジネスマッチングを目的とするサークル「中信サクセスクラブ」では、1989年に発足して以来、初年度より異業種商品技術展示交流会として、毎年「大商談会」を開催しています。2005年からは、複合イベント「中信ビジネスフェア」へとグレードアップし、2日間にわたって開催しています。

2021年度は「今こそ新たなビジネスシーンへ ～ともに新しい時代を創る～」をテーマとして、様々なノウハウを持った企業に出展・来場いただき、各種ビジネスマッチングの機会を提供するとともに、百貨店・スーパー・商社・海外企業等のバイヤーを招致し、販路開拓や売上拡大の支援に取り組みました。

事前来場登録等万全の新型コロナウイルス感染対策を講じ、リアル会場とオンライン会場のハイブリッドで開催し、リアル展287社、オンライン展316社の企業・団体にご出展いただきました。

また、毎年ご好評いただいている中信学生デザインコンテストでは「食」をテーマとした京風パッケージデザインを多数展示し、地元企業をはじめとする来場者のみなさまにご覧いただきました。フェア全体では約5,000人の来場者で、会場は盛況でした。



会場入口(コロナ対策)



マッチング風景



学生デザインコンテスト表彰

■ 合同企業説明会「京都ジョブ博2021」を開催

2021年6月4日・6日の2日間で、求職者の就職サポートと、中小企業の人材確保の課題解決を目的として、京都最大級のリクルート&インターンフェア「京都ジョブ博2021」を開催しました。求職者のみなさまに京都企業の強みや魅力を発信するマッチングの機会を提供し、地域金融機関として地元企業と求職者の出会いの場の創出を通じ、地域活性化ならびに地方創生に貢献してまいります。



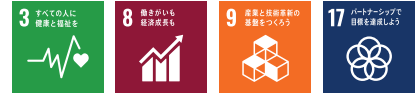
2021年度 SDGsの主な取組状況

当金庫は、2019年2月に「SDGs方針」を制定し、SDGsの達成に尽力することを宣言いたしました。地域金融機関としての様々な活動、お客さまや地域への支援を通じてSDGsに貢献し、持続可能な社会の実現を目指してまいります。



地域産業の育成・発展

- ▶ 新型コロナウイルス感染症対応 資金繰り・ビジネス継続策の支援
- ▶ ビジネスフェア大商談会 ～リアル&オンライン展、ライブ配信 YouTube～
- ▶ 京のごちそうブランド創生プロジェクト ～フードストアソリューションズフェア出展支援～
- ▶ On Your イートプロジェクト ～地元飲食業を応援!～
- ▶ 中国向け越境ECモール「京都优品(優品)跨境商城」～海外販売支援～
- ▶ ジェトロ農林水産物・食品輸出「インクワイアリー・サービス」事業連携
- ▶ 京都起業家ゼミ開催／特定創業支援事業対象セミナー
- ▶ 合同企業説明会「京都ジョブ博 2021」共催 ～リアル&オンライン形式～



中国向け越境 EC モールのライブ配信

地域の豊かなまちづくり

- ▶ 京都市と「SDGs及びレジリエント・シティの推進に関する連携協定」締結
- ▶ 京都府新型コロナウイルス感染症対策応援基金への寄付
～医療機関・医療従事者の方々への支援～
- ▶ 京都府・京都市への社会的に養護を必要とする子どもたちへの支援
- ▶ ソーシャルボンドへの投資
- ▶ 「京都中信寄付型ESG私募債」取扱開始
～子育て支援をサポートするために当金庫が受取る手数料を一部寄付～
- ▶ 「KG+SQUARE by Chushin」開催～京都国際写真祭との特別企画～
- ▶ (公財) 中信美術奨励基金「第34回京都美術文化賞」受賞者決定
～大野俊明／日本画、児玉靖枝／絵画、高橋匡太／現代美術～



「KG + SQUARE by Chushin」開催

多様な人材の育成

- ▶ リーダー育成プロジェクト活動「One Heart～ともに歩もうワクワク未来～」
2021年度テーマ「私の職場とSDGs ～お客さまに喜びを～」
- ▶ 「支店長塾」の実施 ～意識的にコミュニケーションの場をもち、風通しの良い職場づくり～
- ▶ 目利きマイスター・CISマイスター養成
- ▶ SDGs賞表彰
- ▶ 「輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会」への参加
- ▶ 京都府立高校の授業に参画 ～地域経済の現状と地域金融機関の役割～
- ▶ (公財) 中信育英会の運営 ～社会に貢献できる人材の育成、学生の就学を擁護～



京都府立高校の授業に参画

環境負荷軽減

- ▶ 京から広げるゼロの輪
「2050京からCO₂ゼロ条例」への賛同
- ▶ ISO認証・環境マネジメントシステム運用
- ▶ 環境配慮型店舗導入
- ▶ ライトダウン・リフレッシュDay実施
- ▶ ペーパーレス化推進
- ▶ 「びわ湖を美しくする運動」に参加
- ▶ グリーンボンドへの投資



「2050京(きょう)からCO₂ゼロ条例」シンボルマーク



「びわ湖を美しくする運動」に参加

預金・貸出金の状況

預金残高は、個人預金・法人預金が順調に推移した結果、前年同期比265億円増加し、5兆958億円（譲渡性預金を含む）となりました。

貸出金残高は、地元中小企業者や一般個人のみなさまへの円滑な資金供給に積極的に努めた結果、前年同期比1,604億円増加し、3兆771億円となりました。

(単位：百万円)

	2020年9月期	2021年9月期	増 減
預 金	5,069,344	5,095,852	26,508
貸 出 金	2,916,635	3,077,130	160,495

●貸出金の業種別内訳

(単位：百万円)

	2020年9月期		2021年9月期	
	残 高	構成比	残 高	構成比
製 造 業	150,304	5.15%	161,917	5.26%
農 業、林 業	1,128	0.03%	1,099	0.03%
鉱 業、採石業、砂利採取業	1,656	0.05%	1,655	0.05%
建 設 業	150,154	5.14%	173,772	5.64%
電気・ガス・熱供給・水道業	953	0.03%	1,578	0.05%
情 報 通 信 業	7,673	0.26%	9,196	0.29%
運 輸 業、郵 便 業	35,481	1.21%	42,208	1.37%
卸 売 業	95,959	3.29%	100,136	3.25%
小 売 業	65,946	2.26%	70,964	2.30%
金 融 業、保 険 業	122,423	4.19%	138,847	4.51%
不 動 産 業	619,839	21.25%	659,319	21.42%
物 品 賃 貸 業	2,922	0.10%	3,187	0.10%
学術研究、専門・技術サービス業	11,767	0.40%	14,511	0.47%
宿 泊 業	20,202	0.69%	20,558	0.66%
飲 食 業	40,665	1.39%	49,096	1.59%
生活関連サービス業、娯楽業	50,486	1.73%	51,491	1.67%
教 育、学 習 支 援 業	15,813	0.54%	16,018	0.52%
医 療、福 祉	67,277	2.30%	72,576	2.35%
そ の 他 の サ ー ビ ス	67,013	2.29%	71,652	2.32%
小 計	1,527,669	52.37%	1,659,789	53.93%
地 方 公 共 団 体	168,772	5.78%	168,511	5.47%
個人（住宅・消費・納税資金等）	1,220,192	41.83%	1,248,829	40.58%
合 計	2,916,635	100.00%	3,077,130	100.00%

(注) 1. 業種別区分は、日本標準産業分類の大分類に準じて記載しております。
2. 国外向けの貸出については、国内向けの貸出と同様に区分し、該当する業種に含めております。

貸借対照表

(単位：百万円)

(資産の部)	2020年9月30日現在	2021年9月30日現在	増 減
現金・預け金	1,476,354	1,468,674	△ 7,680
コールローン	531	-	△ 531
買入金銭債権	3,013	10,000	6,986
金銭の信託	10,093	7,959	△ 2,134
商品有価証券	1,172	1,091	△ 81
有価証券	1,664,506	1,741,938	77,431
貸出金	2,916,635	3,077,130	160,495
外国為替	15,686	1,127	△ 14,559
その他資産	25,532	26,592	1,060
有形固定資産	53,299	54,689	1,390
無形固定資産	3,314	4,632	1,318
繰延税金資産	2,174	-	△ 2,174
債務保証見返	2,686	2,505	△ 180
貸倒引当金	△ 12,902	△ 13,514	△ 611
(うち個別貸倒引当金)	(△ 7,993)	(△ 7,958)	(35)
資産の部合計	6,162,098	6,382,827	220,728

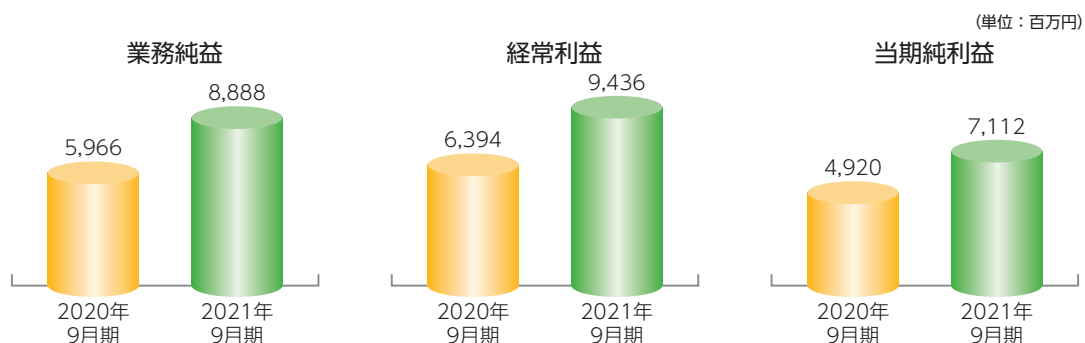
(単位：百万円)

(負債の部)	2020年9月30日現在	2021年9月30日現在	増 減
預金積金	5,069,344	4,905,852	△ 163,491
譲渡性預金	-	190,000	190,000
借入金	500,966	583,933	82,966
コールマネー	8,199	5,596	△ 2,603
債券貸借取引受入担保金	261,471	349,940	88,469
外国為替	88	56	△ 32
その他負債	10,460	11,294	833
賞与引当金	681	697	15
退職給付引当金	11,261	11,246	△ 15
役員退職慰労引当金	474	560	85
預金払戻損失引当金	348	364	15
偶発損失引当金	268	283	14
懸賞金支払引当金	75	47	△ 28
繰延税金負債	-	2,436	2,436
再評価に係る繰延税金負債	4,723	4,670	△ 52
債務保証	2,686	2,505	△ 180
負債の部合計	5,871,050	6,069,485	198,434
(純資産の部)			
出資金	20,211	19,995	△ 216
利益剰余金	246,153	258,018	11,865
会員勘定合計	266,365	278,013	11,648
その他有価証券評価差額金	17,604	27,667	10,063
繰延ヘッジ損益	△ 623	93	716
土地再評価差額金	7,701	7,566	△ 134
評価・換算差額等合計	24,683	35,328	10,645
純資産の部合計	291,048	313,342	22,293
負債及び純資産の部合計	6,162,098	6,382,827	220,728

損益の状況

2021年9月期の業務純益は、資金収支が増加したことや、経費の節減に取り組んだことにより、前年同期比29億円増加し、88億円となりました。

この結果、経常利益は前年同期比30億円増加の94億円となり、当期純利益は前年同期比21億円増加し、71億円となりました。



損益計算書

(単位：百万円)

	2020年4月1日から 2020年9月30日まで	2021年4月1日から 2021年9月30日まで	増減
経常収益	31,650	31,483	△166
資金運用収益	25,723	25,590	△133
うち貸出金利息	16,572	17,107	535
うち有価証券利息配当金	7,232	7,209	△22
役員取引等収益	3,230	3,496	266
その他業務収益	1,298	1,448	149
その他経常収益	1,397	947	△449
経常費用	25,255	22,047	△3,208
資金調達費用	1,571	632	△938
うち預金利息	1,253	347	△906
役員取引等費用	3,251	3,390	139
その他業務費用	1,140	541	△599
経費	17,703	16,941	△762
その他経常費用	1,588	540	△1,047
経常利益	6,394	9,436	3,042
特別利益	0	28	27
特別損失	114	219	104
税引前当期純利益	6,280	9,245	2,965
法人税、住民税及び事業税	1,313	1,990	677
法人税等調整額	47	143	95
法人税等合計	1,360	2,133	773
当期純利益	4,920	7,112	2,192

有価証券の状況

●売買目的有価証券

(単位：百万円)

	2020年9月期	2021年9月期	増 減
当期損益に含まれた評価差額	2	△ 0	△ 3

●満期保有目的の債券

(単位：百万円)

	種 類	2020年9月期			2021年9月期		
		貸借対照表計上額	時 価	差 額	貸借対照表計上額	時 価	差 額
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	国 債	-	-	-	-	-	-
	地 方 債	-	-	-	-	-	-
	社 債	7,910	8,131	221	8,705	8,850	145
	そ の 他	7	8	0	5	5	0
	小 計	7,917	8,140	222	8,710	8,856	145
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	国 債	-	-	-	-	-	-
	地 方 債	-	-	-	-	-	-
	社 債	2,640	2,626	△ 13	2,702	2,691	△ 11
	そ の 他	-	-	-	-	-	-
	小 計	2,640	2,626	△ 13	2,702	2,691	△ 11
合 計		10,558	10,766	208	11,413	11,547	134

- (注) 1. 時価は、期末日における市場価格等に基づいております。
 2. 上記の「その他」は、外国証券及び投資信託等です。
 3. 時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券は本表には含めておりません。

●子会社・子法人等株式及び関連法人等株式で時価のあるもの 該当ありません。

●その他有価証券

(単位：百万円)

	種 類	2020年9月期			2021年9月期		
		貸借対照表計上額	取得原価	差 額	貸借対照表計上額	取得原価	差 額
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	株式	35,148	18,953	16,194	48,743	24,464	24,278
	債券	972,624	960,299	12,325	1,025,231	1,014,983	10,247
	うち国債	180,134	177,544	2,590	207,072	204,771	2,300
	うち地方債	376,799	371,618	5,180	373,285	369,303	3,981
	うち社債	415,690	411,136	4,554	444,874	440,908	3,965
	その他	197,964	191,094	6,870	192,639	181,691	10,948
	小 計	1,205,738	1,170,347	35,390	1,266,614	1,221,140	45,474
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの	株式	16,317	20,375	△ 4,057	10,927	12,647	△ 1,720
	債券	296,357	299,795	△ 3,438	296,751	299,164	△ 2,413
	うち国債	164,160	166,571	△ 2,411	176,029	178,112	△ 2,082
	うち地方債	41,455	42,026	△ 571	64,880	65,100	△ 220
	うち社債	90,741	91,197	△ 455	55,841	55,952	△ 110
	その他	129,660	133,200	△ 3,539	150,510	153,571	△ 3,061
	小 計	442,335	453,370	△ 11,035	458,189	465,384	△ 7,194
合 計		1,648,073	1,623,718	24,355	1,724,803	1,686,524	38,279

- (注) 1. 貸借対照表計上額は、期末日における市場価格等に基づいております。
 2. 上記の「その他」は、外国証券及び投資信託等です。
 3. 時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券は本表には含めておりません。

預り資産残高の推移

(単位：百万円)

	2020年9月期	2021年9月期	増 減
投 資 信 託	46,067	56,829	10,761
外貨預金 (中信オープン外貨定期)	1,735	1,660	△ 75
公 共 債	10,329	9,125	△ 1,204
合 計	58,133	67,615	9,481

- (注) 1. 投資信託・外貨預金・公共債はそれぞれ期末の残高です。
 2. 投資信託は自己取引を含んでおりません。

貸出債権の開示

信用金庫では、金融再生法に基づく「金融再生法開示債権」と、信用金庫法に基づく「リスク管理債権」の開示が義務付けられています。金融再生法開示債権は債務保証見返など貸出金以外の債権も対象としているのに対し、リスク管理債権は貸出金のみを対象としているのが相違点です。

当金庫の金融再生法開示債権（正常債権を除く）に対する担保・保証・引当金を合わせた保全率は95.01%となっており、引き続き十分な引当水準となっています。十分な引当を行い経営の健全性を確保しつつ、地域の発展・支援に貢献することが当金庫の使命であると考えております。

I. 2021年9月期における自己査定と開示債権の状況（単体ベース）

（単位：億円）

自己査定						金融再生法による開示		リスク管理債権	
	総与信	非分類	Ⅱ分類	Ⅲ分類	Ⅳ分類				
破綻先	17	7	10	—	0	破産更生債権 及びこれらに 準ずる債権	76	破綻先債権	16
実質破綻先	58	2	30	—	24			危険債権	565
破綻懸念先	565	268	223	73		要管理債権	43		
要注意先	4,197	1,168	3,029					小計	685
正常先	25,969	25,969				正常債権	30,156		
合計			30,808					合計	30,841

※上記開示額は、2021年9月末を基準日として自己査定を行い、この結果に基づき算出しています。

同年4月1日から9月末までに倒産・不渡り等、及び業況悪化により債務者区分の引下げがあった債務者についてすべて開示しています。

※上半期での必要償却・引当額は、9月末時点の債権残高にて算出しています。

ただし、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」のうち、無価値と認められる部分（Ⅳ分類）を直接償却し減額して開示しています。

（Ⅳ分類・直接償却相当額は5億円です。）

※「金融再生法による開示」には当金庫が保証する私募債の額を含んでいます。

II. 金融再生法による開示債権と保全の状況

（単位：億円）

区分	開示残高 (A)	担保・保証による 回収見込み額 (B)	2021年9月期 引当金残高 (C)	担保・保証 (B) + 引当金 (C) = 保全額 (D)	保全率 (D) / (A)
破産更生債権及び これらに準ずる債権	76	51	24	76	100.00%
危険債権	565	491	54	546	96.61%
要管理債権	43	25	2	28	65.54%
小計	685	568	81	650	95.01%
正常債権	30,156	—	—	—	—
合計	30,841	—	—	—	—

$$\text{金融再生法開示債権（正常債権を除く）保全率} = \frac{\text{保全額 } 650\text{億円}}{\text{債権額 } 685\text{億円}} = 95.01\%$$

※保全率は小数点以下第3位を四捨五入により算出しています。

III. 2020年9月期との金融再生法開示債権比較

（単位：億円）

金融再生法による 開示残高	2020年9月期	構成比	2021年9月期	構成比
破産更生債権及び これらに準ずる債権	78	0.27%	76	0.25%
危険債権	583	2.00%	565	1.83%
要管理債権	99	0.34%	43	0.14%
小計	761	2.61%	685	2.22%
正常債権	28,458	97.39%	30,156	97.78%
合計	29,220	100.00%	30,841	100.00%

※構成比は小数点以下第3位を四捨五入により算出しています。

自己資本比率の状況について〈単体〉

●単体自己資本比率（バーゼルⅢ国内基準）

2021年9月期の自己資本比率は、内部留保額を順調に積み上げたこと等から、前年同期比0.29ポイント上昇の11.09%となり、国内基準4%を大きく上回っております。

(単位：百万円)

項目		2020年9月期	2021年9月期	増減
コア資本に係る 基礎項目 (イ)	普通出資に係る会員勘定の額	266,365	278,013	11,648
	うち、出資金の額	20,211	19,995	△ 216
	うち、利益剰余金の額	246,153	258,018	11,865
	一般貸倒引当金の額	4,908	5,556	647
	土地再評価差額の45%相当額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	2,236	1,652	△ 584
	(イ)	273,510	285,222	11,712
コア資本に係る 調整項目 (ロ)	無形固定資産の額	2,391	3,342	951
		(ロ)	2,391	3,342
自己資本の額 (ハ)	(イ) - (ロ)	271,118	281,879	10,760
リスク・アセット等 (ニ)	信用リスク・アセットの額	2,423,989	2,454,973	30,983
	オペレーショナル・リスク相当額の合計額を8%で除して得た額	84,787	85,689	902
		(ニ)	2,508,776	2,540,662
単体自己資本比率	$\frac{(ハ)}{(ニ)}$	10.80%	11.09%	0.29%

(注) 自己資本比率の算出方法を定めた「信用金庫法第89条第1項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき、信用金庫及び信用金庫連合会がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準（2006年金融庁告示第21号）」に基づき算出しております。
なお、当金庫は国内基準により自己資本比率を算出しております。

京都中央信用金庫 SDGs宣言

京都中央信用金庫は、地域社会の一員として
SDGsの目指す持続可能な社会に向けた取り組みに賛同し
当金庫の事業活動を通じてSDGsの達成に尽力します。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



京都中央信用金庫の概要 (2021年9月30日現在)

本社所在地	京都市下京区四条通室町東入函谷鉾町91番地		
創立	1940 (昭和15) 年6月18日	会員数	233,375人
預金・譲渡性預金	5兆958億円	出資金	199億円
貸出金	3兆771億円	店舗数	132店舗
職員数	2,576人	店舗外ATM	173カ所

TEL (075) 223-2525 (代) TEL 0120-201-959 (フリーダイヤル 平日9:00~17:00 当金庫営業エリアのみ)
FAX 0120-201-580 (フリーダイヤル) インターネットホームページアドレス <https://www.chushin.co.jp/>



この報告書は環境に配慮し、植物油インキを使用しています。

2021年11月